MICHAEL WOODFORD

Former President & CEO of Olympus

LONDON SPEAKER BUREAU

Topics

- Corporate Culture
- Crisis Management
- Management
- Risk

Michael Woodfordは、最初に英国の子会社Olympus KeyMedでSurgical Salesmanとして30年間オリンパスに勤め、1990年に29歳でマネージングディレクターに任命される前に、セールスマネージャーとセールスディレクターに昇進しました。

イギリスの会社のための劇的な成長の期間の後、2004年10月にウッドフォード氏はオリンパスメディカルシステムズコーポレーションのメインボードメンバーとなり、彼は組織内で抜本的な変革プログラムを実行しました。 3年以内に営業利益は2倍になりました。

この同じ3年間で、彼はオリンパスのアメリカでの外科および産業の事業も担当しました。その間、売上高と収益性の両方が大幅に増加しました。 2008年4月、ヨーロッパのメディカル、インダストリアル、ライフサイエンス、およびコンシューマープロダクツの各事業を統括し、オリンパスエウロパホールディングの専務理事および会長に就任し、日本のオリンパス株式会社のメインボードの役員に就任しました。

2011年4月、ウッドフォード氏は、日本の大企業を経営する唯一の4人のうちの1人である、オリンパス社の社長兼COOに任命されましたが、西側で最初の給与を獲得したのは初めてです。 2011年10月1日、ウッドフォード氏はCEOに就任しましたが、わずか2週間後の10月14日に、15億ドルを超える不可解な支払いを照会し、会長と副会長の辞任を要求した後解雇されました。

ウッドフォード氏のキャリアの間に、多くのハイライトがありました：

1997年3月、彼は宮崎と東京で開催された「アジアヨーロッパヤングリーダーシンポジウム」でイギリスの産業を代表するようイギリスの貿易産業省（DTI）とイギリス外務省に依頼されました。

1998年7月には、当時の英国DTI国務大臣であるIan McCartneyから、労働力開発に関する行動規範を策定するためのDTI作業部会のメンバーになるよう招待されました。

1999年11月に、彼は20世紀に英国の社会に優れた貢献をした英国の400人のうちの1人としてロンドンの市長に選ばれたことを光栄に思いました。これは女王陛下とエジンバラ公公爵夫人の殿下の前で、大邸宅で祝われました。

ウッドフォード氏はオリンパスの「社会的イン」企業の社会的責任（CSR）方針の文脈における初期の先駆者であり、英国および世界中の道路上での死傷者と死亡者を減らすための仕事で、彼女の陛下によって任命されましたこの地域社会の支持を受けて、2002年の大晦日の名誉リストの大英帝国勲章（MBE）に加盟した女王。

2004年から2008年の間に、当時はマネージングディレクターを務めていたOlympus KeyMedは、2004年に持続可能な開発の分野で、そして2006年には国際貿易のために、そして2008年には再び非常に権威のある企業賞を受賞しました。革新。このような短期間で3つのクイーン賞を受賞することは、彼が率い

た組織の高い基準と起業家精神の両方を証明するものです。

イギリスのオリンパスでの彼の勇気の後、The Sunday Times、The Independent、そしてThe Sunは、すべて2011年の「ビジネス・オブ・ザ・イヤー」を受賞しました。初めて、3つの全国紙がすべて同じ個人を尊重することを選択しました。タイム誌は、2011年に重要な人物の1人として彼を認識しました。ウッドフォード氏は、認定詐欺審査協会（ACFE）による2012年クリフ・ロバーストンセンチネル賞「自己の真実を選ぶために」の受賞者でした。　2012年3月、彼は名高いFT / ArcelorMittalの「Boldness in Business」賞を受賞しました。

info@londonspeakerbureau.my +603 2301 0988